

卷之六

梅老五十二載下

目錄

廿一心痛

丁

廿二腰痛

婦人腰氣

三丁

廿三腹痛

八丁

廿四腹痛

十丁

廿五痛氣

土

廿六消渴

十四

廿七痔漏

十六

廿八衄血

身

廿九吐血

血

吐血

十八

吐血

吐血

廿九下血

廿

三十汗

廿三

廿一欬逆

廿五

廿二秘結

廿七

廿三眩暈

廿九

廿四脫肛

廿二

廿五癰瘡

廿三

廿六眼目

廿五

廿七耳病

廿八

廿八鼻病

單

廿九口舌

廿四

四十牙痛

廿四

聖一咽喉 四十二癰病 聖一咽喉 四十二癰病 聖一咽喉 四十二癰病

廿一心痛門

胸ノ痛し種ノ食割アリ虫ノ起リ乳故ノ胸腹ノ痛
スルハ面赤心熱を白クマクテ唇紅ナリ痛ヤメハヨク食
食アリ痛起リナリアリ安虫快腸湯
昔ナ草ナ奴ナ 兵ナ 西ナ 二聖同ナトモ吉

二聖同ハ 瓜 百 二味ナリ
身寒邪アリ口寒物ヲ食シ俄ニ心痛志必用脈
トナルニ温中散氣湯 貴ナ 危ナ 昔ナ
生薑二片炙ハ 貴ナ 昔ナ 危ナ 粉草ナノ生薑ヲ研テ
入ルアツ湯ニナキテ用テ効ナリ

平生コレヲ熱ヲ物ヲ食シ死ニ至リテハ
虎ノ虎ノ実ヲ治血弱痛漏トカクシテ紅花
加テシ

心痛スル知物ヲ以テヨリヲサスル時ハ痛ヤ心ヨリト云
虚脈モ虚ノ貴半今生善耳

心痛スル知甚望ノ平ヲヨスレハ迷惑シサスルセイヤヤ
臥望望ノ大便結スルヲ下セ実大朴十虎

腹マ痛ハ多ク加ヨ腸マ痛ハ望ヲ加ヨ
婦人ノ物出レテ持痛有テ細クヲルハ

似痛スル痛 霍大収ス半大建ハ香ハ危毒
我ハ血ハ人血マアズ半マシ貴ヲ加ヨ平善

大便結マハ虎実ヲ加ヨ虫腹マヤリマツルハ
兵棟根ヲ加ヨ手足冷脈伏ノ息トハ所子大加

ワラヌベテニラニツム人ニツキ頭カケ西ノサキヲ前マ
ハ西ノ乳ノ頭ノサキマテトノ婦人マサキヲ前マ

背(四)シ答ノムサリマテ西ノ星ヲ一処合セ其トノ
ヒルレサシムトモ面モ灸セヨ一期ノ回ヲヨラヌトノ報

ユヘシ
治法
温中散丸陽 蒼十 危十 蒼十 危十 蒼十 危十

紅中散丸陽 蒼十 危十 蒼十 危十 蒼十 危十

一 胎前 胎前ノ用
一 胎前 胎前ノ用
一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一 胎前 胎前ノ用

一、寸白ノ湯ヲ用ルルハ、（一）本ノ皮ヲ大ニ剥キ、（二）本ノ根ヲ人ノ
伏ノ面サキ大服、（三）黄ニ腫ルハ右ニ、（四）指ノ趾端ニ
テ解ルル傳

二、腰痛門ノ婦人腰氣

大腰ハ兩腎ノ所在ニ氣ヲノ（血液ヲ流通スル時痛、
痛ナレバ、（一）痛ヲ過シ、（二）腎水ヲ枯チ、（三）腎氣ヲ流
行セズ、（四）血液セズ、（五）血腰ノ間ニ滞リ、（六）フサナクテ
終ニ痛ヲ生ス、（七）多ク塞ハ、（八）腰背甚痛、（九）血トモ
ト、（一〇）コリケルヲ流通セヨ

補腎通氣湯 桃々 奴々 已々 伏々 羌々 七々 六々
養榮活血湯 桃々 紅々 朱々 七々 六々 芍々
或ハ溫氣ニ候サレ、（一）膝迄タ重ク、（二）主居ナリカタク、（三）天々ナリ
兩ノ足時ハ代重クナリ、（四）コリケルヲ長坐スル時ニサセ、（五）痛マシ
レノヲ、（六）腰心緩ナリ
陰濕流氣湯 羌々 已々 夜々 奴々 白々 芍々 羌々
七々 六々 芍々 羌々 七々 六々

奴案

胎陽ノ澤氣ヲ散シ氣ヲ散行セシムル

血海ノ瘀血ヲ通スル 桃紅 芍

血熱ヲサリ陰ヲ補ハ 生芩 柴芎 六白

下焦ノ接熱有テ白濁白淫ナカレ 腰ヨリ夜中及テ身

ホノトコロ中ハハハ 知 白 六

上ニ至シヤスク 面アカク胸クルレク氣ムセテ咳時々出

麦門ノ中 寧 桑 中 黃 十 廬 小 藿 中 車

又心ヲモスサス 腎合ノ道モ有テ 腰氣ヲ引ハ皆血ノ道

也ナリ

又月ガチリ九日ハ九寒ヲ過スノ時氣ヲツケシメ血ヲシテ

ガス食ニ至血ヲ乱シ血ヲ冷ス食ニ至テトモ忌む心氣ヲ逆

セシノ思フ過ノミレラムスホフヲシノ 驚ヲ血氣ヲハムトキラ

セシル 難タイム注ナル 邪氣ニアリ 乱 難食ヲし憂

患鬱怒ヲス故ニ月水通シ残テ 腰 腹ノ間 澤 唇ノ潤

月ニカサナリ 淫 絡ノ澤ヲナル 故ニ 寒 衛モナリ 寒 腹

流ニ至リ 同 津 多ニ 筋ナレ 難ニル 故ニ 腰ヲモウ 痛 腹スリ

レシ後ハ 起 居ナリカキ 行 坐 汗スナリ

凡 邪ノ入 鈔 芸ナリ 肥 散シ 寒 邪ヲハ 貴 味ソ

五ノ淫 散 淫 邪ノ入 已 伏 羌 麻 邪ノ入 白

如 六ノ入ナリ 夢ニ至レ 瘀 血ニ至リ 夢ニ至レ 夢ニ至レ

紅中ノ温通セヨ 膀胱ノ血ヲ通シ 血ヲ流通
セスハ 牛七ノ鹿ノ六ノ白ノ血ヲ類ナ血ヲ補
血ヲスシテセヨ

金胞育ノ二穴 十九椎ノ左右各三寸

腎俞ノ二穴 十四椎ノ左右各一寸五分

脾ノ俞ノ二穴 十一椎ノ脾ノ下アリ 以上三穴ハ

婦人ノ腰ヲ充テ盛衰ニ合セヨ 一処五十壯百壯ニ合

三白壯ニ合ル

活套

薏仁スヲサセ七ササニ 杜仲ハ 右酒入テ煎シ

用ヨ

羊腎虛ノ腰ニシレ行フナラスハ 金毛 細辛 土

三ササセ七ササニ 人ノ杜仲ナリ 桑

依テ 耳右取金毛用

馬丹

一所 陰腰痛ハ腎ノ熱ト 寒ト淫ト心ニシ

肥今腰痛ハ淫ナリ 腎ノ熱

瘦今腰痛ハ熱ナリ 中寒ノ在

老人ノ腰痛ハ熱ナリ 宜母

腹痛ナリアチ痛時心小悸ナリナリ
合利通気飲 已チ 奴 伏 針
以ニ此類ナリ 疾ウシナリ 舒氣ヲ 解スヘシ

一 知ヤミナリ痛し別ノ知ウツリハタラカス 痛増減ナリ

死血ナリ 活血弱痛湯 赤ニ 紅ニ 虎 才 有 好

一 腹中常ニ熱有テ痛ハ棲熱痛ナリ 腹堅ナリ 又チナリ

ナリ 腹必洪大ナリ 寛胃湯 虎 実 中 朴 ナ

一 虫ニ心腹イタヘ心痛門ノ寄虫収腸湯ナリ

一 婦人血氣不調ナリ 赤白帶下ナリ 用ナリ 時時寒ナリ

一 収飲ノ印有テ温散ノ法ナリ 二ナリ

奇

一 腹痛ハ皆寒シ 大熱中熱ノ甚チ 煎シ本香丸ニナリ

一 外ニハヤチ石ナリ 又チナリ

一 寒ナリ 腹痛是モアリナリ 又チナリ 又チナリ

一 霜腹ハ熱ナリ 三 薑ヲ水ニ用テヨシ 又チナリ

一 腹痛ハ大熱ナリ 五丹ヲ下ニ宜母ナリ

一 大面腹痛ナリ 流行スル 肝經ニナリ 又チナリ

肝經ニナリ 又チナリ

故高脈引痛息引ツノ嘆息ノ痛肝本

大逆ノ肝膽ノ二經ニ甚ク氣鬱ノ通行セズ故ナリ

寧肝通氣湯 青皮大 柴胡 枳實 芍藥 西

荊 芎 芩 實

大肝ハ左ノ居ス膽モ亦肝ノ短葉ノ間ニ取テイルナリ

故肝助左ハナリ偏ニ痛ハ肝膽ノ痛ナリ 熱者ハ 柴胡

青黛 西 芎 芩 實 冷ハ 土 薑 芍 藥 芍 藥 芍 藥

食ニカラレバ用

秋沈故ニ肝甚ク痛大便堅 施 宜 丸 虎

右ノ腹脈實ノ脈ヨリ 脘ヘイタニ食支ヲスレハイヨリ

イタニツスハ食支ノ痛ナリ 半 芍 實 大 朴 芍 藥

虎

活 查

一 芍 葛 湯

服ノ下 痛コフヘカタクハ 查 芍 細

葛 根 已 芍 藥 人 芍 藥 芍 藥 芍 藥

右ノツナ 痛ニ或ハ腫不食ニレ 芍 藥 芍 藥 芍 藥

桂 芍 湯 左ノ腹痛ハ 芍 藥 芍 藥 芍 藥 芍 藥

芍 藥 芍 藥 芍 藥 芍 藥 芍 藥 芍 藥 芍 藥 芍 藥

熱氣アラハ 三黄丸ヨシ

一 氣ヲウケノ 脇痛ヨシ 降気湯ノ 液氣欠ヨシ

一 血ノ道ヲ 脇痛ヲアリ 四物湯 滑石散ヨシ

勘弁

一 所詮脇ノ痛ムヲハ 熱カキナルヘシ又ハ 腫物カ 抑ムル

中寒ノ 策 三黄丸 又玉丹ニテ下スヘシ 虫ナマハ

大ニ丸 寧又ハ急ニ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

玉丹ヲ下ヘシ

此五 証ノ 氣

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

一 足ノ 脛脛ノ 經ノ 痛ムカウシラスリテ 肝ヨ 腫モノナハ

經氣、筋ノ伸ミケラス其ノ上ニ寒邪ノ入リ、寒ハ外邪ヲツカ
ミ、物ナリ故、内ニ濕熱ノ鬱スルヲナシ、甚シ故、寒ニマズリ
ヲコレナリ又天地ノ濕熱ツヨキニモコレリ濕熱ノ飲食ヲ過ス
時モコレナリ内ニアル濕熱ヨ又濕熱ヲカサスル故ニ濕熱、マツ
リテモコレナリ

濕血補以月湯 薑、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱
ヲ退ケ、已チ、寒、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱
乙、筋、氣、ヲ流通スヘシ、此、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱
内、筋、氣、ヲ隨テナリ此、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱

論云、加

醉飽ミルハ大用、起ル活計スルヨリ、痛ヲナラハ右、五月、乃
痛、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱
痛、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱

大、筋、肉、大、筋、ヲコレ服タタキ、怒、フ、ト、痛、ヲナラハ、寒、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱
以上、大、筋、肉、大、筋、ヲコレ服タタキ、怒、フ、ト、痛、ヲナラハ、寒、大、百中、寒、危、半、ヲ濕熱
又、筋、肉、大、筋、肉、有テ、肝、胆、月、三、經、痛、結、ノ、痛、氣、ヲ、フ、ス、モ、在、足、
見、合、ル、ナ、リ、俄、増、減、ナ、ク、イ、モ、ノ、如、痛、
湯、
活、血、肥、肌

灸 大敦ハ 足ノ大指爪ノ根ヨリ 一寸 隔リニテ 外ノカミバシ

アリ 五七 壯灸セヨ 両方ヲ 肝經ノイタル処

丹 臑 腋ノ下 三寸 あり 此 壯 五十 壯ヲ 灸スヘシ

章 門ハ ヨロハ 腋ノ下リナリ ソハサマニ 子サセテ 上ノ足ヲカ

ク 子ノ足ヲサシ 人骨ヲ アケ 腋ノトヲリ アル アハラ 背ノサキノヲシ

ハツシク 出ナリ 起テ タシハツシ ソロセハ 子テノ 時 背ノトナリ ア

タル 故 アシ 二三百 壯灸セヨ 是 肝經ノ 通行スル処ナリ

五 璫 交ハ 肉 踵ノ上 三寸 あり 此 壯ヲ 灸スヘシ

癰 癰トナヘノ 或ハノ 背ノサキモト カタマリ 引ツラヌ イタメサルハ

ト 灸ス 味ナリ 是ナリ 灸ス 味ナリ 是ナリ 灸ス 味ナリ 是ナリ

一 灸 氣ハ 大寒ニ 未証也 是ノ 頤アリト 云 此ハ 氣ノ 穴ニ 灸ス

ト 心ニ 大熱ヲ 灸テ 用ヘシ 則チ 瘡 治ナシ

一 灸 氣ヲ 灸ム 人何 煩ヲ 是 此ハ 氣ノ 穴ニ 灸テ 大熱ヲ 灸テ 用

灸 氣ノ 穴ニ 灸テ 用ヘシ 是ナリ

一 灸 氣ノ 穴ニ 灸テ 用ヘシ 是ナリ

一 灸 氣ノ 穴ニ 灸テ 用ヘシ 是ナリ

一 灸 氣ノ 穴ニ 灸テ 用ヘシ 是ナリ

一 灸 氣ノ 穴ニ 灸テ 用ヘシ 是ナリ

一 灸 氣ノ 穴ニ 灸テ 用ヘシ 是ナリ

液ノ生ズルヲ治スヘシ
渴痛ノ人ハ 羊皮ヲ用ヘカラス 汗ヲ全セリナカレ 若シ天
花粉ヲ湯ヲタテ 飲セヨ 枯ヲ葛粉ノ如スルヲミナリ
吞食 淫妄ヲ甚忌ヘシ

葛丹

- 一 消セ渴セ三焦ノ大熱ニ 三黄 石膏 芒硝ノ類ミ
- 一 餘ノ寒冷ノ薬ハ 寒性カルク故ニキラス
- 一 玉丹ヲ下ノ宝丹ヲ内熱ヲサマセハ消渴イユルナリ
- 一 寒冷ノ薬ヲ湯ヤマスハ 中熱ノ薬ヲ文用テ湯ヤム

ホセ痔満

大痔ノチ昆千連 飢食スルヨ大腸氣ヲコタツテ積氣ヲ運
化スルマラス 清濁相渉 新大腸ヲクリツム土金屬之
故 肝木腸中ニタタリナカレ 腸中ニ風氣ヲ生シ 終腸ノ痔満
生ナナリ 肛門ノマウ肛門ヲク 梅ノサ子 豆粒ナト 物ヲキス
痛 或ハユウ或ハレタル大便秘スルコトナハリ痛ニ長生セシ又
ガニ時ニ腫マシ痛ニ甚シフコト 糞汁ナカルナリ 是ハ痔ニ或ハ肛
門ノ下ニ寸寸或ハ四五寸モヨソ腫レヤカリ 積有テカ多 後ハツテ
ウミ 糞汁ナカレナリナリナリハ 外ヲトテ又イチキク スルヲ限リナシ久
シ先ヲカキ去リ時ニイモツカニ 便ヲ大便秘スルナリ 出ルヲ

九十九湯と云

其脈沉小ノカアハ治シヤスシ浮大ノカアハ治シカスシ

痔ノ内蒸ハ四ツ心持アリ 活血養腸湯

右尺沈寒ノ数下焦内熱アリハ栝 苓尾連竜ア

大ヲ瀉セヨ

腸中風有テ時々下血セハ生半梔角ヲ血清シ血ヲ生シ行
桃ヲ血ヲ和ス

大腸ノウルホヒ尽テ大便カキ結セハ 虎奴ノ仁ヲ煎大
便ヲ和シ通セヨ 無テ用ヨ

九十九湯と云

アノ又胡タラコク要メテフナリハレ瀉レ痛ヤヤ

痔ノ内蒸ハ 本蟹子 五倍子 二種末ノ付ヨ 又カキサリ

ツホレヲ和シ付ヨ

漏瘡久クナラズハ脈ヨリ人多ク菰芥 本ノ煎ヲ氣血

ヨリカヲ補イ凡邪腸焼熱アスハ痔瘻治 隨テ加減又ハササ
漏ノ上ニ生サアルクヘキ湯フクシテ生サノ上ニ漏ノヒササト

サリヌ(ア文ヲウケサアルサトウリヌスルサ取リノケツヨクア

ツカラレハカラス 疳疔モ其ノトクニテセヨ 生サコケハ細トリカ

ヘヨ封塞ハ 疳疔モ火ノク(テ焼テ 小敷ニヒタシ取出し 疳疔

ノ上ニ生サアルクヘキ湯フクシテ生サノ上ニ漏ノヒササト

[illegible]

九氣食通

七又四角五分

[illegible]

四五くうりワ、一寸せ今より廿八に増え、今より

解題子食也

血通門之血調一六生血十元蘇葉烏梅杏仁寧

右取し用ひ一冊御湯已書ノ歌也之老病ノ上ノ下ノ

古今

一、此乃一、此乃一、此乃

子比其大者，子比。

室丹
王丹
下

大山辨ヲ 皇一政令叙レト又、子（名無由）

五八番番子

吐血者亦陽盛陰虛也

同。委与逆大陰血。子午卯酉之血。凡血皆

ノ乳より大へ骨髄花、大へ

清和堂

卷之十

五ノミナリ

治法

一 吐血衄血同し其ナリ吐血無熱後ハ虚ス衄血熱

大熱ナリ

一 四物湯ヨレ 香ソシヨレ 芍薬ヲトル又サマシヨレ

其方

一 諸ノ血ヲ完ハ出ル衄血同レ何レノ出血モ治石ニ
養血ニテ血ヲマシ宝丹ヲ内熱ヲサマシ玉丹ヲ下ニ

此九下血門

大血ノ下ハ大腸ヲ熱アリ下血虚スハナリ

此九下血門

若大腸ヲ風邪ヲ隔ノ下血セハ其下大腸ヲ分カサ中

前ナリ其ナリ此大九ハ空中 奴中

淫邪腸中入り血ヲマフリ下血セハ淫ヲ通行シ熱ヲ清スレ

蒼毛ヲ淫ヲ退ケ凡 白毛ヲ熱ヲ清セヨ 除淫養

厥湯トス

下血ノ積熱有テ下血セハ其大 克 養 百ノ類ヲ散サ

下血諸其ナリシニアラヌナリテモ細クヲモルハ着中十四推

ノ節ノ下全門一穴ヲ五ナリ百条ヲハスルニ主ヲ而足ノ節ナリ

一 牛ノ皮ノ一焼ヲ芥子葉ヲ藥ノ用

一 三黄丸ヲ用テヨシ

一 下血ハ血熱ヲ虚証ナル故ニ久リ療治ラザル赤痢門

ヲ禁テ求ヨ

一 常ニ玉丹ヲ用テヨシ

一 此ヨリ一度ツケハ玉丹ヲ下ノヨシ

三才汗門

大汗心ヲ液ニ心熱甚リ肝胆濕大過ナリト六淫相合

汗流イフ動スルハ行甚タイツ足ヲ自汗ト云テ然ハ心熱

ヲカ用 証ヲ逆テ四ノ氣ヲ補スヘシ 空ナ 証ナテ熱ヲ

胃ノ氣ヲ補シ上表虚ヲフサキ 衛氣ノ証ヲタシフス

至入乾陽湯ヤシタル如ク一身ノ汗出ヲサナテ是ヲレリ目

ヲカテ後ハ出サルヲ逆テ云ヒ 是ハ血液ノ虚損皆陰ヲ

表ナリ 益元養榮湯 芩 芥 芍 芍ヲ血ヲ補シ或ハ

至リ如 如 交門ニテ 相火ヲ清シ腎陰ヲ補ス

肺虚シ交子火有テ胸中イテタラシク 層腰屋スレ保テ

行出 空ニテ肺火ヲ逆テ或ノ 層腰ヲトツベシ

自汗 益汗ノ草ハ 辛散寒衣ノ類ヲ用(チラス 黄蘗南

葛 麻 藜 ナリ モシ人々 苾 苾ハ身 葉ノ入リ

苾 苾ハ身 葉ノ入リ

ア引用ヲイサレムルニ 瘧疾ノムリニ 瘧疾ヲサカサスルニ
用(シ)藥ハ 常ニ 大ニ 忌物ノ

治套

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ
牡蠣散 風中^ニ 質根^ヲ 牡蠣^ノ 圭^ノ 茸^ノ 白木^ノ
甫^ノ 右^ノ ムキ^ノ 百粒入^ニ 用^ヲ 狗^ノ 南^ノ ア^ノ 白木^ノ 已^ニ 用^ヲ
下^ニ 汗^ヲ カ^ク セス^ニ 其^ノ 藥^ヲ 柘^ノ 掃^ノ 皮^ノ 白木^ノ 已^ニ 用^ヲ
手^ノ 突^ニ 右^ノ 此^ノ 類^ノ 用^ヲ へ^ニ 用^ヲ

郭丹

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

一 汗カク^ツハ 心月屋^ノ 盜汗 自汗 出ル^ニ 其外ノ 汗カク^ツ

諸痛平愈ノ後自汗盜汗此物是ハ余熱未
盡故ニ三五九 宝丹ナリサマ用ヘシ又ハ小寒ノ未

ヲソコク用テヨシ

一 宝丹ヲ内熱ヲサマシタラズ自汗盜汗トモニ用ルヘシ
但ヒ冬ニ汗イシ 夏ニ自汗盜汗皆熱ニ宝丹ヲ内熱ヲサマシ

一 救逆門

夫人ハ陰陽ノヲナカナキニ平ト云氣血ノ太過不及ナキヲ
和ト云ナリ或ハ飲食ノ不節中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ上焦

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

ナトナ客氣ノ升降ヲ或ハ中焦トナ客氣ノ升降ヲ或ハ下焦トナ客氣ノ升降ヲ

乳橫乳ノ下一寸五分、アリ、右一柱、
乳横乳ノ下一寸五分、アリ、右一柱、

活套

一 噴逆ト云 肺ノ引胃ノ膈ノトモキ折節アタシ
食ヲ引胃ノ好ヲマアリ 膈ヲサナリ 息ノアヲカキ 苦
ナリ外ニ息ヲスルヲエラスノ息田へ引入ケクリトモ
故噴逆トサササマノニバデキト書シシハフキハ向ヘ息ヲ
スル噴逆ハ内ニ息ヲ引シ 某ハ胸ノフサカルヲアケテ息
ノヨリヲ自由ニスルヤカニセヨ云フシ凡某ヲ用ヨ

橘皮竹茹湯 胃と肝虚ノ食ヌ又又胸ノチチ咳

トブテスハ 老賢者 神如天 人今也 仗中車 宿 柿葉

浮白散 紫白皮大 古更大 空葛耳 青耳大

噴逆ハ多ク熱ナリ 虫ナリ 其故 風寒ニアリ 胃ニヘテ
熱シタル飲食ヲ用ハ必噴逆出来ナリ 三黄ノ散中寒ノ
其又 宝丹 虫ハ 草 大ニ九

大

一 痢病傷寒、嘔吐逆出、赤白、是ハ熱、依テ虫カ
痛シ、或リト知レシ大寒ノ藥ヲ、蓋ノ其汁、大シ丸入ハ

單ヲ太用ヘシ又室丹
中熱ノ藥ヲ、單ヲ用ヘシ

計二 秘結

秘結ノ病、只一様、アラス夫血月ハ五液ヲ主シ故、腎虛セサル
トハ津液、ユタカナリ、然時ハ大便、ウルホクテ秘結ノ病ナリ又胃
水谷ヲヲヤナ、脾ハ運化ノ脈、府ヲ潤沃ナリ、ノ榮衛ヲ通行
ノ経路ヲカルホス故、脾胃ノ病ナキハ、花柳枯燥ノ患ナク、輕
時、或ハ多ク、或ハ少ク、或ハ急ク、或ハ緩ク、或ハ大ナク、或ハ小ナク、

如地ノ經、テ一身ノ血、ホイツキ漸ハ秘結ノ病生ル、此上ハ

虚、堂シテ邪入故、以燥熱燥、虚燥、寒燥、ノ療、涼花柳
ヲ補シ、津液ヲ生シ、中焦ヲ調テ、榮血ヲ生スハ必漸、ニ一身ノ
血、ホシ生ノ傳導ノ路、心ヨクメ秘結ノ病ナシ

益津潤榮湯 生地黄 酒白芍 此藥ヲ腎水ヲ補シ相火ヲ
浮シ、津液ヲ生シ 桃仁 紅花 升 熟地黄 此類ヲ

血ヲ補シ榮衛ヲミタレハ 實 升 奴 此類ヲ
満ノ血ヲモラヌ 人多ク 升 葛 芍 此類ヲ
血 液ヲ升降セシム 虎 今尾 凡 此類ヲ

大 中 小

此散ヲ大便秘ルハキヲウルホシ通スルナリ

五補水補血ノ中、用中滿ヲ除キ先ヲ并降スルホク時、用
大便通下ノ葉ヲハ五二日、一包マノマセ或ハ養生葉ノ中、一
二粒マツカサノマセ病熱ノ多ク、随テ加減スル、下要セシ
相火太盛ナルヲモ浮セス壓水ヲモ補セス血液ヲモウルヲサス
先ヲモ并降セスノ儀、巴豆、牽牛、虎ノ類、ヲ浮下スル、一
服アルトナリ一旦浮下ノセアトハ、前ヨリモナリ、結スル
如神、細、下セツノテハ、潤尽ニ死ス、大便結燥スル病者、少
許ノ葉スヘキス、行ヲ索スルイモ、ウキ津液ミナ成テ乾ル、
病者、虚弱ノ大便秘燥スルハ、必下葉ノ多クハ、ハミク、小便
上リ、陰血ヲ枯ル、故イウク、下葉ヲ用スヘシ、小便通ハサセ
用ヘカラス、細、大ノ葉ヲタスケ中葉ノ實、滿ラマヌ、類ノ魚鳥等、
熱ノ類、用ヘカラス

節介

一 細結ハ燥熱實熱ナリ、ウレホシテ二便秘スルヲ知ヘシ下ニ
巴豆ノ入ル葉ヲ用ヘカス 三葉ノ類、杏桃、杏仁ノ
油ノ尾葉ヲ燻クハ、ホシ 三葉ノ寒冷ヲ熱スサマ
ヘシ、葉ハ大寒ノ葉モシ 大乙丸モシ
下要ハ、玉丹ノ用、下ノ室丹ヲ用、肉熱ヲサマヘシ、
有餘ノ婦人、細結スル、十余日、玉丹ノ用、即時治、是

玉丹宝丹妙也

- 一 三黄丸ヲ胡テスリテ其汁ヲ用ヨ
- 一 肚門ノ奥ヘ茄子ノ漬物ヲ小ニ切テサスヘシ
- 一 胎ノ外ニ茶火腫門アリ
- 一 三黄、温石、鉄ノ粉ヲ大ニヘテ丸ノ形セヨ尾ノ穴、磁石ヲアテラケルヘシ大便通スヘシ
- 一 完ヘサスサキ 蜜ヲヨウク子リテ大蒜ノ実、付テ完ノ奥ヘサスヘシ

戒三 眩暈

ナス眩暈ノ因ツクニ是ノ生ノ病、有テユルヲ如クナレトモ、其ノ病、多クシテ如クナレトモ疾ナレトモ凡ノ月ノ真水虚損ノ血月ヨリ、氣ヲ尽テ相大老ナリ時、眩暈スルモアリ、然レ肥白人ノ眩暈人疾ヲ退ケ老上ノ火ノ多ク必右手ノ脈実ナリ清心磁石湯 煮テ 事ト 伏テ 室ナレトモ、其疾、眩暈ハ胃水ノ不足ヲ補シ相大老上ノ下スヘシ脈虚数ナリ 補虚佐燥湯 煮テ 事ト 若ト 望月ナリ今ナリ若ク人ノ脈虚ノ浮大ニハ凡邪ナレ、依テ眩暈スルモ、脈数ノ熱証有テ眩暈モ今連 危ナリ

脈沉遲ノ寒証有テ微暈其 術子 生薑加

寒瘧後或ハ金瘡或ハ崩漏或ハ衄血下血ナリトハ血ヲ去ラシテ

又氣付其ヲ吞ヨ 論 二 飯アリキアル 今 三 其

以テ三種細末ノカウカイノ耳ニ一匕ニヒツスル湯ヲ吞ヨ 胡蜂

ノ刺ヲ入ラシ 生神散ト云

太陰濕土ノ客氣ノ時分甚ニ長而テ濕氣甚キヲカサレテ

氣イタシ 物ヲ首ヲツイタスル如ク目ミイ不食也 除濕湯

本ナギ 貴ニ 伏ニ 其ニ 七 除濕湯

毛芒ヲ風邪ノ遺ケ 今 危ニ火邪ヲ至ル 實

氣ヲ散スヘシ

一 眩暈ト云ハ血ノ方ヲ用ミシモアリ又脈中歴シ命門ノ守護

ナリシテ目マハルモアリ 風ヲ引テ 頭ヲモリテメハルモアリト

熱シ下ハ腎虛シ命門ノ守護ナリシテ 長病ノ後カク凡セ

アリソシク心ユテ補ヘキナリ 除眩湯 伏今 其ナギ 耳梗壳 芥子 薑

右並用 心脾煩ト起シ風某用 四物湯

一 蘇香同、細、酒、吞セヨ
 一 温月、病モアリ、其心、尤ナリ、但し、婦人、産後、ナト、ハカハル
 一 金瘡、口、前、妙、香、散、ヨシ、妙、調、散、ヨシ、元、氣、補、細、

吞セヨ

一 嘔、眩、暈、ハ、冷、スル、依、テ、虫、カ、ラ、ヨリ、タルト、知、レ、大、熱、ノ、基、
 テ、華、ヲ、用、レ、新、病、ノ、ナリ
 一 四、痛、大、病、ノ、眩、暈、ハ、多、ク、熱、シ、宝、丹、華、ヨシ、ス、六、華、ヲ、ハ、ナ
 寸、用、ヘ、シ

一 產、後、或、ハ、金、瘡、出、血、眩、暈、ハ、血、虚、シ、冷、ナリ、ス、六、華、モ、ソ、ウ、ノ、

ナリ、華、ヲ、用、シ、活、石、ニ、炭、砂、ニ、用、シ、ス、六、華、ヨシ、

此、四、脱、肛、門

夫、肛、門、ノ、脱、出、ス、ル、ノ、氣、虚、ノ、収、引、ス、ル、ヲ、ア、タ、ハ、ス、ノ、脱、出、ス、ル、ナリ
 血、虚、下、焦、熱、氣、生、テ、脱、出、ス、ル、ナリ
 虚、ヲ、補、レ、升、テ、降、氣、ヲ、ナ、セ、華、大、升、ナ、ニ、テ、血、虚、補、ヒ
 格、ヲ、下、焦、ノ、熱、ヲ、サ、セ、以、上、ナ、リ、氣、ヲ、脈、証、隨、加、減、セ、ヨ
 香、ヲ、ナ、リ、ヨ、ク、葉、ノ、古、壁、ノ、土、ヲ、入、テ、カ、キ、ニ、ゴ、レ、ヨ、キ、ナ、リ、脱、肛
 ナ、リ、テ、立、信、ナ、リ、格、ヲ、升、テ、降、氣、ヲ、ナ、リ、如、此、四、脱、十、度、ス、レ、ハ

必収入ナリ 盤氣龜頭イッレナリ 里候人オノ計ナリ

油ヲテトキ 脱肛ハ月ヲヲ入コ

を百會へ肩ノ間ヨリ上ハ寸廿一壯 灸スヘシ

命門ハ十四椎ノ節下一穴三十壯五十壯

龜尾ハ脊ノイシツキ龜ノ尾ト云知レ廿一壯

最出足ノコムヲ肉ノ下ノキハノマニ中ニ灸壯

却丹

一脱肛熱ナリ其故ハ何ナリ 冷泉水ニヒヤセハシメ之ヲ熱湯

ニヒセバハル物ナリ 然則脱肛ハ熱ナリ 中寒ノオモシキニサデ

取服ス余熱尽サル依テ三葉ヲ煎ヨシ又ハ宝丹 若屋ノ

冷テスハ五香湯ヨシ

一松茸ヲ煮テ脱肛ヲアツク又冷テヨシ

一田螺ヲ煮テ灸テユキノ脱肛ヲアロウヘシ

一石風呂ヲタキ赤雞頭花ヲ肛門ニアツク石風呂ノ上ニ

ヲムスヘシサイノ雞冠花ヲトリナヘヨ

疝瘕

飲食節ヲ失ヒ膏粱ノ美食ヲ食トシ肥腴漢味ヲ専

トス人漸ニ濕熱腸胃ノ間ニ生シテ道ノ難行ヲサレ

難行

患冬葉ヲ煎ノ瘡治ノ方ニモミルニ意ヲ示シ

又湯茶ヲモミテヘシ

瘦キリクトウツキ脈ノ動致有テウシサワナシム

麝香散 危ヲ充テ下 白木 空射テ

多シラシ血去痛ヤシ莫汁バナリタリ脈シツクナラハ

加科連充湯 充テ並テ介ナ 白木 吉更

蔓 草ナ 耳ナ

腫物ノナリ時令凡引脈浮ノ煩令 刺 薄

佰ナ

カケ氣ウメウマニシ

手愈ラ後脈座シ自汗シツク人感ナ 白木中人多ナ

耳ヲ加ニ

手愈ラ後津液座シ 煩燥ノ大便カハル 六ナ 廿ナ

小児ノ赤葉ハナリ 寒水石 石ナノ末ヲ芭蕉ノ

葉ノ汁ナトナ合丹ヘシ手足ヘナシ 服服入エマウナ

大人小児 大ナラズ 耳 瘡ヲ生スル 明者ナ 薑丹

黃連 程粉 各五ナ 瘡 鹽湯 洗 葉ナニナリナシ

患冬葉ヲ煎ノ瘡治ノ方ニモミルニ意ヲ示シ

花水藥

白濁

セノ同ノ中ニ赤ナルヤ即ニキハラハシ

此テ痛ハ赤ヲ加ヨ 頭痛ハ赤ヲ加ヨ 苛ヲ加 苦ヲ加

目赤リ疼シ目アタタシ流テアキニクハ 荊中 況テ血倍子

連大 爾中 同元十文 キヌノ袋ニ入テ煎ノアタタナリヨキヤニ

シテ洗ヘシ

目イタシモセヌタシモセヌ光ウスキハ 毎日早朝ニテ

塩ヲカキ入テ指ニテ口ノ中ニ出テほリヌリ 以テ水一口ヲ常

ニスルヨリヤウナリ老ニ及テ光アリテアキナリ

色肥散 妙カ石ヤヲ 黄連ノ煎汁ニテ 竜胆ニテ

外腎肉障ハ赤真珠ヲ合ヨ タシカキハ 銅音ヲ入ヨ

赤血ヲ浮口出テツナリ 赤ハ 驢驘血ヲ入テ 甚メウツ痛

アシキオハ白丁者ヲ入ヨ

勃弁

一目ノ赤キハ 血熱ノ風熱 依テ痛ルル物ナリ又ハ膜ニ

血カサス物ナリ 赤ク痛ム目ニ 寒熱アリ

冷テ痛目ハ必ズ赤也ノハレヌ物ナリ 必ズ痛ルルニ 是ハ

冷ノ同ナリ 胡椒 ハ香 竜胆ヲ入テ目ニ赤キアタノ

光明丹 アタノ赤キナリ 石上ニ 蓮花 丹者

活石（一） 蛇膏（二） 輕指（三） 胡椒（四） 生肥（五）

山椒皮（六） 山椒（七） 薑連（八） 炮大香（九） 薑（十） 熊膽（十一）

風熱（十二） 痛風（十三） 物（十四） 色紅（十五） 紅（十六） 紅（十七） 紅（十八） 紅（十九） 紅（二十）

石味結（二十一） 石味（二十二） 煎物（二十三） 煎物（二十四） 煎物（二十五） 煎物（二十六） 煎物（二十七） 煎物（二十八） 煎物（二十九） 煎物（三十）

煎物（三十一） 煎物（三十二） 煎物（三十三） 煎物（三十四） 煎物（三十五） 煎物（三十六） 煎物（三十七） 煎物（三十八） 煎物（三十九） 煎物（四十）

煎物（四十一） 煎物（四十二） 煎物（四十三） 煎物（四十四） 煎物（四十五） 煎物（四十六） 煎物（四十七） 煎物（四十八） 煎物（四十九） 煎物（五十）

煎物（五十一） 煎物（五十二） 煎物（五十三） 煎物（五十四） 煎物（五十五） 煎物（五十六） 煎物（五十七） 煎物（五十八） 煎物（五十九） 煎物（六十）

煎物（六十一） 煎物（六十二） 煎物（六十三） 煎物（六十四） 煎物（六十五） 煎物（六十六） 煎物（六十七） 煎物（六十八） 煎物（六十九） 煎物（七十）

煎物（七十一） 煎物（七十二） 煎物（七十三） 煎物（七十四） 煎物（七十五） 煎物（七十六） 煎物（七十七） 煎物（七十八） 煎物（七十九） 煎物（八十）

煖病ノ鳥熱ノ明春石喜月大食破ノ香

氣操一重ノ如ヘ子リサホトス

煎し物ハ五更香ノ如シ

比ア子ノ油ヲ入

一タレ目ハ煖病大生肥ノ石喜月々末ノ糲合ア目色ノ

二十七 耳病門

夫耳ハ四月とスノ上リ通スル然レ相大タカラフラス腎水セトモシカ

ラサレ時ハ事ヤラサナリ鳴リサレ右腎水ヘリ相大ヒトリ盛

盛タセソノホリ耳中カユク蟬ノ鳴如ク或ハ川瀬ノ如ク或ハ鐘鼓

ノ如シ淫妄ヲフシ四月水ヲ補益シ相大ヲ清シムル事ヲ用ルモ若

ク耳ヲ治ムルセザレバ通心ヲユケクトモタレノミ血ヲ通行シ

疾大ノ通ル事ヲ用テサラズト云フナレ腎水虚脱シ精氣ホ

ク大相大サレタタラフテ耳鳴リトラクハ補腎通氣湯

サレ方ハ枳實 麥門冬 知母 土圭

或レ世サレ心ヲ尽レシ或レ常ノ講釈シ或レ久ク持經シ氣血漸

滞リ耳ヲフサカテハ事ヲ氣ヲ順流シ血ヲダラヌヤハ治スヘシ

養神収氣湯 蒼朮 枳實 下血 土圭 芒硝 遠志

大痛ノ後サレ元精トモシク田中ノ津液ダリカ子耳ナリ

遠クサレ培之茶食胃湯 茯苓 枳實 芒硝 芍薬 合

耳ノ連後ノ物ヲ送氣サレ血血上ニ標ツ事耳鳴ノヤクモ

大痛ノ後サレ元精トモシク田中ノ津液ダリカ子耳ナリ

降し血を去る(し) 薑 椒 蘇 橘 肝

煎ミテサシ 輪廻酒ヲ加ヨ

産後、物ナリ過ノ産ノミ氣ヲ尽シ元ヨリニハツル人ノ只

今産後、血氣カイナリ成テ耳ヲボロミ目ミイ心ナリ氣重

ヤハ人々ナリ 牛大木 薑 牛 生薑末ヲ入煎ミヨ

大人小兒、カキラス耳ヲツキ、ウミ汁出ハ、片ナリ下ナリ

生薑ハ、乾ス 牛房ナリ 空ナリ 紅ナリ 耳ナリ

上氣腫痛ノ心ナリ 薑ヲ加ヨ

耳、風熱有テ耳ナリ 煖ナリ 腫痛ハ、苛味ヲ加通服

耳、水ノ入テ腫ハ、石菖蒲ヲスリテ、ナリテ汁ヲナリ耳中ニ入ヨ

活本

一 耳ハ腎ノ臓ナリ 起テ固シ腎虚ニ又ハ肺ノ風ナリハ耳鳴

聞ス 腎虚ハ菖蒲絲肉ノ風ナリハ 香ソリン 血ヨリ

固(スハ)四物ノ一用ナリ 又唐蔞ナリ(又モアリ)

一 耳カシト云テキカヌモアリ

シホリ合其ノ中(ツエタ)入(シ)

一 耳ノ膿アズ紙ナリノ末ニ 薑ノ粉ヲ土竜ノ粉ヲ合テ

ナシ入ヘシ

又

一 建痛 山島ノ頭ヲ霜ノ油ヲ并ニ水ヲミキセシ

部奇

一 所詮 耳ナリキカスハ風ヲ引カス無ノ道ヲト云ヘシ風ヲ引ハヌシ毛活湯ノ道ハ塵シ活石シ 昔キ湯

食砂散

一 老人ハ九十ヲ生タレ人眼ハ明テ大方耳ヲ聳ル物然トキ上安イハレシ又注シ又自由モフサヌカ 聖丹用ハ

戒ハ 血異病門

大鼻ハ肺氣ノ通スル如香臭ヲカキ 吸引スル処ニ肺ハ清塵ヲ好

トナ肺中熱スルハ清湯多ク又好テ酒ヲ喜シ過ハ酒熱

肺ヲセシ熱ハ飲ノ酒熱トナル或ハ相火ヲナリノ火ツテ肺經ニ入

時ハ血盛ナルハ常ニ肺氣塞リ鼻ハ通利セヌハ

溫肺通氣湯可又 刺ナズ 毛ニ 肺中ニ火熱スル

空ニ 肺熱依テ鼻中イタヒ 瘡アスハ 鼻下リ加肺

鼻隆盛シハハ 鼻中ハハ 鼻タウシハ 鼻門加肺五湯

酒造ノ人肺熱盛熱シ 熱鼻 鼻ハ清血盛澤ノ鼻ノ也赤ナリ

或ハ鼻赤トナルハ 鼻中 鼻中 鼻中

鼻中 鼻中 鼻中

鼻中 鼻中 鼻中

鼻中 鼻中 鼻中

鼻中 鼻中 鼻中

鹿ノノミハ破黄 乳香 桂粉 烏鹽くろしりを要す

調子毒也しらしラリニスルヘシ或ハ井花水ニ調テモスルヘシ
酒麴 黄 鹿仁末トナシテ茶ノ清ヲ送下ス一月計ノ間

酒ヲイムアフリ物ヲイムヘシ

鼻翳生ノ者鼻ヲカス或ハ鼻中トテ鼻中、鼻キ肉生ノ
痛ヲウシル出ル連 丁 細辛 三種亦分、末ノ豆粒ナド綿

ツシテ鼻ノ中、入ヨ

腫ノ外、熱有、其熱腦ノホリ額赤ク濁タル涕ヲヤリテ流

出ル度、血マレルナリ是ヲハ鼻淵ト云 連 厄 下

鼻塞リキカスナリ 風 肺ニ引故ト見タリ 香ソント

ヲ用ヘシ肺氣病ハ咳嗽門ナ 某ヲ成ヨ

鼻ノ内、肺火中ヌアマ肉ト云モ出テ鼻塞リ息苦クア

ル心上熱シ唐瘡ノ為ニナアルヘシ唐瘡ノ子ヲ山椒素ノ

水ヲ吞シ針ヲ入テサレ切血ヲ取ラカシ

鼻ノ瘡ハ明茶 粉ノ粉ベニトラカクハミノ酸ヲトキテ

彼ノ葉ヲサキヘスリテサスヘシ

廿九 口舌門

史記曰 舌上生瘡 口舌通 心氣通 舌上生瘡 或

舌上生瘡 口舌通 心氣通 舌上生瘡 或

舌上生瘡 口舌通 心氣通 舌上生瘡 或

情ノ鬱結より或ハ五ノ過傷に依テハ口苦ノ痛ヲ生ぜり

肺熱ノ氣上テ滯リ痰塞テ唇口サケカハ口苦。瘡生セハ

宜ク并大奴十 半々 并々 葯

心脾熱ノ口苦。瘡ヲ生シ咽喉、及テ腫痛セハ 杏核々 葯

若ク并大 并々

腋中ニツモリタル熱毒ノホリセノテ口ナ古、瘡生テ細辛ノ

二味ホノ清水ニテ口苦ヲヨク洗テサホホフニ子リカキヨ

一方ハ鵬砂 枳 枳 以上三ニテ生瘡、調ナムクナキト、九廿

中ニツモリタル口ナ瘡、イユル

九ノツマノ

一方ハ灯心ヲコク煎ノ細、ワリミ口ヲス、ケ如此久ノイユル

心熱重古ヲ生シ或ハ古大、腫脹ノ不食スルハ連一味ノ煎菜

ヲ細、吞セテ生蒲黃ノホニスル吐出ハ又スリクセヨ連ノ汁後

中、入テ心経ノ熱ス、七還テハイユルナリ

一方ハ鵬砂ノ末ヲ善汁ニ調テスル、別ニ痛ナク依、ノ古ノ上ヨ

リ血ノ流、出ルハ古、細ト云槐花ヲ炒テ末ノニ子リカケヨ 五倍

若ク上、白キ胎生シハキ、漬テ物イニニテキハ、并ノ末ヲ善調

テスルハ或ハ、中セウキテ白胎ノ丸ヲス、ツテ其後、瘡塞ノ

一ツ

一ツ

スルナリ

丹溪曰肝膽之熱有六口中酸苦此未明也

空々者大耳々竜胆々羊々

夜神々柴々竜胆々

心熱ノ口苦リ口舌瘡アハ連大芍薬柏々耳々

脾熱ノ口苦リハ空々連大虎々貴々耳々

肺熱ノ口苦リハ空々耳々素々素門々虎空々

腎熱ノ口酸スハ空々耳々六六八八

口中酸味ノスルツイハ中焦虚弱食積カクイハレ

初年

一口舌病ハ皆脾胃ノ熱ナリ中寒ノ業又ハ三黄丸煎用元

一七月七日音キ山々取テ陰子ノ移テ口ノ粉物ハ能ク

タハ吞レテ居タワアルカヨシ

一室丹ヲ用内熱ウサシ又ハ玉丹ヲ下ノヨシ

四十 牙痛門

又歯ハ骨ノアツリ骨ハ腎ノ主ル処ナリ新ハ甲経ノ主ル処ナリ

下ノハタキハ大腸ノ經ノ主ル処ナリ口ヲ同ト風寒アタツテ

痛ハ腸胃風邪アルコトヲ偶々也

新ハレイタ

新ハレイタと云フは、國則ハ鼻ノヨラレヌハ腸胃中ノ積熱有

生ハレイタ又ハ、其ノ牡丹ノ石高ナ

新ハレイタハ、アハレイタミミ、或ハ根スイテエルハ、月ノ元ト氣

生ハレイタハ、科ハ、柏ノ葉ハ、山ノ葉ハ、草解ハ、補腎脂

生ハレイタハ、時ハ、經脈ノ隨テ上下ノ處ナキヲセメテハ、ハナキ

生ハレイタハ、及テ、痛ハ、萬連ノ苛、荆ノ丹、牡丹皮

生ハレイタハ、楊枝ヲツカウコト、血ノ出ルハ、其ノ葉ヲイリ、コカノ益ヲセ

生ハレイタハ、中ノマル汁ヲハ、吞ヘシ

生ハレイタハ、其ノ葉ノ入

一方ハ、巴豆ノ入ル葉ヲ如クサスル、妙ト云、痛ヤム

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、油ヲ紙ニシテ、其紙ヲ其ノ口ニツケ、其ノ油ヲ

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

一方ハ、其ノ葉ヲ、其ノ葉ノ丸ノ中、今日ノ中、二度三度、其

竹中雀ヤミ 右ホノ意ノ根、又ルヘシ
虫歯痛ハ漆 其ヲホノ合 呪工サスヘシ

活套

- 一 意ハ四月 蔵ワリヲコル物ニ息リサキモ是ナリ
- 一 虫歯痛ハハ明香 乳香丁子 芒硝 干松 柏
右意ノ方ニミテハ又吐出スヘシ
- 一 口ハ汁ヲ鹽ヲコナテ凡ノ火ヲ打リベテヤリ 如地七度焼
タル鹽ヲ以テ虫ノ根ヲスル
- 一 灸 虫ノ腫イタ頃ノ中ニホリホリ灸スノ方トワヨリ云ニナリ

虫歯痛
虫歯痛
虫歯痛

- 一 桃 本ノ皮ヲ煮シ含ノハ齒ノ痛歟ハ止ム
一 干子 胡椒 上番々 鉄粉 朱 山椒 女
右ルシ蓋ハサムヘシ又詰 包ミテノムヘシ
一 蓋ノ裏ヲ其マニ抹キ出ラタキテ其上ニ子リテ香ヲ焼ヨウ
一 蓋ノ上ハ咽ヲアサウムスヘシ 其後酢ヲ含ナリ 虫多シ蓋
ナリ出ルナリ
- 一 虫歯痛ハハ明香 乳香丁子 芒硝 干松 柏
右意ノ方ニミテハ又吐出スヘシ
- 一 口ハ汁ヲ鹽ヲコナテ凡ノ火ヲ打リベテヤリ 如地七度焼
タル鹽ヲ以テ虫ノ根ヲスル
- 一 灸 虫ノ腫イタ頃ノ中ニホリホリ灸スノ方トワヨリ云ニナリ

ハミアリ以下ノ
三能本書ニ
呂本ノハナク
ハミアリ以下ノ
三能本書ニ
呂本ノハナク

三選 三ノテ 振タト云テ
金鏡卷 右巻ノ巻セヨ

卷之七

右表ノモセヨ

一
六
八
中
角
輪
吉
更

四十一

十一 喉前
飲食ヲサメテ咽ノ府、通スルノ道、喉前

呼吸出入肺通三焦通心經相火三焦

唯ヲマツ故ニ火ノ肉ニ寄結スルヲ唯ラセヨ

暁天撫上焦ノ客トシ咽唯ハ腫脹スルニ甚シ通セサルニ至ス

凡喉痺^{うづえん} 針刺^し 血^ちヲ^ヲ出^だス^ス 尤^{なほ}上^{かみ}葉^はト^ス 針^し口^{くち}

痛生善スツテ地湯ニ調テ大ニ細ククマシメヨク

[illegible]

龜胆カミツ
白薑シロショウ
炒チヤウ茶チャ
小コ兒ニ
用ヨウ

唯中吹入或鼻中吹入

一石六白香土 巴豆

ヘテテトロカシテ巴ツテ
取りステ白墨ナリ行ニ

合益揚肉合精
マミナ合
石中

一、針血，即丹卷方。

上魚圖
月堂
牛客中

上野山 木ヲカキテ、香スレカニ土氣ニ寄
大青ニシテ

大標

卷之五

方ナリカキ茶ヨシ

一 咽ヲ中ニ瘡出テハ 五香湯ヲ用テヨシ

一 舌ノ上又ハ口ノ内ニ瘡出キタラハ 香茶 升 柏 凝粉

皆粉ノノ舌ニスルヘシ 日本 大國ノ前ノ牙痛ノ治法ノホニアル
明ニ重寶ノクニアルト云ニ保ツルアリ

甚初升

一 咽喉ノ痛ハ寒熱ナリ玉丹テ下スヘシ室丹テ内熱ヲサマス

一 竜胆ニミテホノ唯ニ吹入妙ナリ

一 咽ニ魚ノ背ヲ十ニルニ六常山積ヲ葉ニヤキ水ヲ用 神效

一 西十二 癰病内

一 風ノミアリ 邪風ト衛氣ト相戦テ癰病生或ハ爲ククモ

一 顔ヲ好シ余ノ腸胃ニ注ル盛ノ家中患熱出未レソノ上唇覺シ殺

一 風ノミアリ 衛氣流セズ終ニ病生 脈浮大ナルハ汗ヲ出スヘシ

一 背ヲ刺ス 虎ノ鼻ノ舌ヲ 耳ヲ 右葉ノ 梓皮ヲ 虎ノ茶一

一 服ホトマノマセヨ

一 二カハ 刺ナ 背ナ 白毫地ス

一 右葉ノ 蜜丸ノ 是ヲ用ス 刺荷

一 葉ヲテアタカニ送下ス 刺葉白ノミシウツヲ 含ミシテ

一 舌ノ内ニ瘡出シ 居テ 汗ヲ出スヘシ

一 舌ノ内ニ瘡出シ 治法

一 浮萍サシ 刺ナ 右葉ノ 虎ノ茶

牛乳 右末ノ每服ニ加 胃本ノ痛ヲ何カテ止メテ

陳皮 葱白ノ煎汁ヲ調服シ汗出ルヲ度トス

脈浮ノ中ノマセハカ有テ洗イタル處ニハ輕脈ノ中ノ元惡凡

ト知レシ是ヲ治スルハ甚ク癰腫スル処ヲ針サシテ血ヲ出ヘシ

或毒中ノ穴ヲサシテ血ヲ出ヘシ 關ノマシ 元 廿六中

乃中生牛乳六中其ヲ熟サス 右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 脈

風癰痛ヲ止メサシ 右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

一方ハ急治大 中 玄 右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

其病ハ元カサト 玄時ノ後復其元ハ癰腫如形イヘテ以後

右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

非本連 牛 蜜 桃 右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

其病ハ元カサト 玄時ノ後復其元ハ癰腫如形イヘテ以後

右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

其病ハ元カサト 玄時ノ後復其元ハ癰腫如形イヘテ以後

右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

其病ハ元カサト 玄時ノ後復其元ハ癰腫如形イヘテ以後

右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

其病ハ元カサト 玄時ノ後復其元ハ癰腫如形イヘテ以後

右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

其病ハ元カサト 玄時ノ後復其元ハ癰腫如形イヘテ以後

右末ノ蜜丸ヲ用ヘシ 廿六中

右此種晒乾マツノ性ヲ有し末ノ温湯ニ浸漬スルアムシテ頭

面及四肢癢アル如クアラハ

一青ハ素ノ枝ノ皮ヲ熱湯ニテアリクシテ而リ洗ヘシ或ハ麻ノ皮ノアル

アルアリヲ洗ヘシ

秘要ノ古傳アリ此病ヲ治セ正月末ヨリ二月二月中旬マテハ

シテ取テマツ万病養生ノ時令ナル依テ諸病皆瘳起スル此時

食ウケトリ治スハ其力ナクモセイレカクシ無分別ナル者ハ其故増

長シタルヤウニ故三月ノ末ヨリ諸取治スル次第ニテ驢ノ毛

用者此病ヲ治命ノ第一禁物肝要ニ常後ニ而淫アリ月

四十一

一癰痛ハ血実熱ノ煩ニ風熱依テ虫ヲ生スルナリ

一玉丹テ十日ニ一度ワ下ノ室丹ヲ用テ氣血ノ実熱ヲサス

ヘシ大石丸ノ用テ虫ヲコロス

一滑石散テ血ヲ生スヘシ痛詳別最アリ

四十三 婦人門

大婦人ノ病ヲ治スル男子ト一同ト云ハ片方カハル心モナク

凡百人ノ胃大九人ノ胃大耗氣精損ノ病ニシテツナナノ

婦人九人マテノ氣弱經滯ノ病者ニ上右ノ聖賢モ深ク此ノ

經道ノ婦人ノ病ヲ治スル降氣散ナリ

一婦人ノ用テ故ナクハ

是婦人ノ仙薬トヨリ此道理ヲ會得テ婦人ノ諸病ヲ治ス或ハ
憂思ノ久ク氣ホトケス或ハ悲喜ノ故有レトクンフナリ或ハ嫉
妬懷怒ノ氣胸中ヨリ逆上ノツキ順流スルヲモナリ如レ情志日ハ
月ニツモリ重テ氣滯ノ順流スルヲ久ハサレハ經絡漸滯テ月
經改メホツナリ或ハ白淫ト成テ懷裏アケクハ虛熱勞瘵
ト成然同婦人ノ寒暑濕ノ數ノ外邪ノ累ホ痛ヲ療治スルヲ人
凡胃主ノ同トシ七情内因ノ久痛ヲ治セハ少陰氣散氣
ノ藥制ヲ加ヘシ

其外胃主ノ藥ハ痛月水ノ不同赤白帶下懷妊難產ト
婦人宗動難痛ノモクマカフウニキツリ痛難クモルアカリシ
面イキリ胸中サレツカ不食スルハ此氣滯ノ痛ニ而寸脈洪
張ノ左ノ關強實ナル物ナリ
如料流丸飲 蒼大 空 奴中 柴中 香大 加減ハ別裁有
赤帶文ノトマラス脈洪張ナラ赤芍又 蒼大 百中 草中 數ヲ
枳實、マキフヘシ或ハ律毛皮ヲ加テヨレ
脈虛細ノ 勒枝ナクハ 赤芍中 蒼大 南中 散葉テノスヘ
國ハ數々ノ反ヲ加テヨレ

白帶文ク止ラズ或ハ最白コリ 陰中、白ナ 汁有テ腰イタミ
面ノ赤青ノ脈強張ナル 柴中 蒼大 人中 花中 赤芍中

月水之也 甚多乃 果入 經中 邪也

香
連
粉

赤弓 連ノ類
月水ノ色 アマリウスノウヅ、素ル下焦、淫邪アルカヌ
面、紅赤ヲサリ、介、赤、主ノ類、六血

月水、色、下マリ、ウスリメウシ、
血虚、イハレナリ、柏、天、淫、邪、ナリ、
介、芥、主、類、天、血

毎月改暦より月水遅々十六日虚冷之下、毎月改暦より月水ハヤク
感心血熱して面赤アリにナリ、上、脈少、客ノ草ヲ用ヘシ

九思血熱下流宜早治之誤脈少者乃革之用也

服之早病亡事人懷妊九月十月者大八真実ノウス

丹經集要卷之六

源上ノ人ハ
性ハ一ハ
有リ
好シ
二種ノ
アヲ
有シ
其

[illegible]

五十四日乃集
平野元ノ

或ハ中位ニシテ

食意カイナ 瘦人ラズハ 見本

元氣弱
行
子
如
虛
批
子
八
年
六
月
四

新橋の船形屋、築橋して用水方へ

調(崔黃)子濟乳(各文)

吾人
我益し
術好
脉盛ナリ
日水ノ
下
前より
若テ

イロヨロシキニ經血盛シタシタニテアノ心懷ナク

用テ邪熱ヲ去ルニ温熱銅補

五十六上
氣二

金龜陽
麟結七次

寒熱往来し或は不食し或は月水不調滞り或は血脈中かたまり

皆是は患者ノガナリト云然レ心エハシ

或は婦人血氣調順ノ月水常ノ如ク脾胃壯シテ飲食食ヨク進

ミテ懐妊ナキハ或ハ男子ノ胃虚シテ元氣弱ノ者宜クツツシニス

ヨリ精汁虚薄ノ者トナフ又ハ是ヲハイカニモ居テ又ナリトナフ

胃元氣盛ニシテ脾胃調テ飲食食ヨク又ハハ胃元氣調リ

精元氣調テ懐妊ナキト成ヘシ又胎ノ下血ナリト云々セヨ

懐妊シテハ懐妊婦人数月及テ流テ終ミト成フナクハ

宜ク上焦ノ虚氣ヲ追テ室ヲ塞テ元氣ノ安エテ清レ故本ナ

リト云々セヨ又ハ女子ノ血虚ナリ故ニ如地脈証ナリト云々

又ハ月テ三度ノ流通シ脾胃調リ月経常ノ如ク有テハ

マハ流テ有ヘカラス

惡阻 又懐妊ノツハリスルヲ人々依テイタリ日ヲ定メテ

ツツハルモアリツヨクツハルモ有異証ハ脉平ノ顔色ヨク手

足ヨクナリ顔色ヨク目ヲ食食物ヲエテモ食ス又ニチイライヤ

リカヨリサナリ胸ワルナリ嘔吐シテ食スアルカリソツトツハ

ナリ又ハ水ヲ飲ム嘔吐シテ向テ不食ナリナリト云々ハ又

右セウカラハ入道ナリ

伏ナリト云々

其ナリ

イタ月ノヲカキテ人胎ノ動速腹痛シマスカタハ

何ヤ茲ト毒ヲ投其ノ急白アテ煎服ノ輕重ヲ者

ナリハセヨ其脈証ヨルベシ

衝任經血盛シ胎氣ヲ守護スルヲカイナキハ骨ヲ折心ヲ

尽シ百ノ毒物ヲ食シ風寒ヲアケルハ必胎氣動ノ死胎血モル物

ナリタラズ慎ミ

下血其痛甚寒熱ヲ奪ハ脈ノ遲救ヲ分別シ藥ヲ用ニ抵マ

生年大刻ナ藥ニ空ナ赤クナ冷証ナハ赤南中阿膠ナ

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

生年大刻ナ藥ニ空ナ赤クナ冷証ナハ赤南中阿膠ナ

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

何ナ續斷ナ日本懷妊胎動ヨク其ハ藥草若藥材香附子

婦人懐妊ノ既。産月ニ至リ。臍を痛て。ナリ。反節を屈ル
故ヨク。眩臥ス。ヘカラス。ソコ。行歩ノ。腸中ヲク。ツロサ。ツキ
ツレノ。血氣ヲ。流通サセ。シヨ。多ク。酒ヲ。ノミ。毒。サ。マ。タ。ス
酒。シ。テ。年。食ヲ。忘。毒。針。灸。ス。ヘカ。ス。憂。思。ス。ヘカ。フ。人。言。ハ。今。
苦。シ。キ。ヲ。通。ル。ヘ。カ。ス。ツヨク。怒。ヘ。カ。ス。打。擲。ス。ヘカ。ス。重。キ。物ヲ
アリ。ヘ。カ。ス。又。風。寒。ヲ。ア。タ。リ。手。足。ヲ。モ。ス。ヘカ。ス。産。力。骨。ス。ヘカ。ス
既。産。シ。時。ニ。ヨ。腹。イ。タ。ム。ト。モ。腰。ツヨク。イ。タ。マ。ス。ハ。マ。メ。シ。キ。
然。ハ。面。手。ツ。引。テ。座。敷。ヲ。ウ。キ。ト。ア。タ。セ。ヨ。腹。痛。ノ。イ。ヤ。カル。ト。
シ。イ。チ。アル。セ。ヨ。如。振。ス。レ。ハ。胎。肉。ク。ツ。キ。子。ス。リ。シ。ル。故。折。サ。節。

此。時。ハ。子。ノ。リ。セント。ス。ル。故。シ。ウ。ツ。キ。ト。子。ノ。マ。レ。ハ。子。ノ。手。足。ヲ。モ。ス
故。或。様。々。手。足。生。ス。ル。モ。然。間。ツ。ヨク。痛。ム。時。ハ。ナ。チ。コ。ス。テ
主。ノ。仰。モ。腹。中。ヲ。ク。ツ。ロ。ケ。レ。ハ。子。ス。リ。シ。テ。正。路。ニ。生。ル。ナ。リ
然。モ。子。ス。リ。セ。サル。間。ハ。サ。モ。イ。キ。ツ。ム。ヘ。カ。ラ。ス。子。カ。リ。ノ。子。ノ。ツ。ツ。リ
産。門。ニ。ツ。カ。ツ。キ。モ。發。手。サ。セ。ト。モ。腰。ヲ。ク。ギ。ア。ケ。テ。一。拍。ヲ。徒
イ。キ。ツ。マ。セ。ヨ。如。此。ノ。サ。モ。ツ。ツ。ハ。值。生。フ。サ。テ。吞。ス。ヘ。シ。若。シ。子。カ
リ。セ。ス。サ。キ。ハ。ツ。イ。キ。ツ。ハ。胞。衣。オ。コ。ロ。ヒ。テ。ト。ワ。ケ。リ。胞。衣。ヲ
タ。リ。テ。胎。肉。タ。ク。破。レ。産。出。来。ス。ル。レ。腹。腰。久。シ。イ。キ。ミ。子
ノ。ツ。ツ。ツ。タ。産。産。ス。ル。樹。白。皮。ノ。冬。産。産。サ。カ。

右キツミ煎ノ旨デセヨ

着ハヤノイキツミ破水多アリ子ナリセス産シカクハ

白芷 白芍 二味ホ合ホノ童便ト羊ノ醋ト合熱湯ヲ入合

テ煎テ二合キミテ吞セヨ 其後又 小蓟子 榆白皮 ニミ

ホ合煎ノ 活石ホ 雲母ホヲホ合合セテ又右ノ煎汁ヲ

用ヨ

既ニ産後及テ二三日モウマレスムソヨリ 冷一アカリ 陰戸

小腹ニ胎血ヨリ滯テウマレスハ 主大 紅 赤 桃 雀

右キツミ煎ノ酒セヘアタメカノ吞セヨ 若キ足上テ脈モカイ

産後秘結 大如散 蟬蛻 二味ヤキ 右三

活石 葵 右細末ヲ每服ハ順流水湯テ用

胎衣ヲウキニアノイハレアリ子生レヲナ惡血胎衣ノ中ニ入胎衣

ツクモウマリモアリ 逐ク治スハ腹中脹滿シ心絞痛疾シ喘

息スル者ハ治シカメレ

又胎ナル婦人カラ各レ積氣ヲ 苦ノテイキツミ アタメサト

痼疾アリ 重テ胎衣ヲイキツミラロスニ勢ナシ 故ニ産ノヨリ

以テニキ胎衣ヲルニ 道ノ血ツキ 治故ニ自血ノメニナリヌナリ然

同子ノウレトシスハ一息イキツミカセテ ヤスマセテウケテ即

イキツミセテ タロヌナリ

附子 九枚

若胎^{（胎）}未^{（未）}生^{（生）}ノ胎^{（胎）}ハスル^{（スル）}紅丹^{（紅丹）}散^{（散）}ニ勝^{（勝）}ル^{（ル）}胎^{（胎）}子^{（子）}カヒ

各細^{（各）}末^{（末）}虎^{（虎）}ノ子^{（子）}ヲ^{（ヲ）}上^{（上）}ノ時^{（時）}サマ

三味^{（三味）}ノ末^{（末）}ハノ九ノ温酒^{（温酒）}ヲ吞^{（吞）}セヨ 奪^{（奪）}命^{（命）}丹^{（丹）}ト云^{（云）}シ

難^{（難）}産^{（産）}ノ患^{（患）}証^{（証）}身^{（身）}ヲモリ体^{（体）}熱^{（熱）}又^{（又）}体^{（体）}ニ古^{（古）}下^{（下）}ノ節^{（節）}音^{（音）}里^{（里）}古^{（古）}マ

ッレニ先^{（先）}ハ必^{（必）}死^{（死）}証^{（証）}唇^{（唇）}口^{（口）}青^{（青）}ク痰^{（痰）}沫^{（沫）}ヲホリハ中^{（中）}生^{（生）}絶^{（絶）}シ榮^{（榮）}衛^{（衛）}

ヲ失^{（失）}ル^{（ル）}胎^{（胎）}子^{（子）}母^{（母）}ニ死^{（死）}シ舌^{（舌）}赤^{（赤）}ク面^{（面）}色^{（色）}青^{（青）}クシキリ^{（シキリ）}痰^{（痰）}沫^{（沫）}ハ

榮^{（榮）}衛^{（衛）}絶^{（絶）}胎^{（胎）}氣^{（氣）}ヲミ^{（ミ）}ア^{（ア）}クル^{（クル）}証^{（証）}子^{（子）}ハ^{（ハ）}母^{（母）}ニ死^{（死）}シ面^{（面）}赤^{（赤）}ク舌^{（舌）}青^{（青）}ク

胎^{（胎）}中^{（中）}ヲ死^{（死）}セリ^{（セリ）}名^{（名）}治^{（治）}セハ母^{（母）}ハ^{（ハ）}イ^{（イ）}ベシ

新^{（新）}産^{（産）}ノ胎^{（胎）}子^{（子）}清^{（清）}ノシ^{（シ）}ツ^{（ツ）}ル^{（ル）}サ^{（サ）}レ^{（レ）}實^{（實）}大^{（大）}強^{（強）}ニ^{（ニ）}沈^{（沈）}細^{（細）}シ^{（シ）}テ

胎^{（胎）}子^{（子）}ハ^{（ハ）}母^{（母）}ニ死^{（死）}シ

新^{（新）}産^{（産）}ノ胎^{（胎）}子^{（子）}即^{（即）}養^{（養）}生^{（生）}ノ^{（ノ）}ヲ^{（ヲ）}モ^{（モ）}ム^{（ム）}キ^{（キ）}大^{（大）}シ^{（シ）}チ^{（チ）}ヲ^{（ヲ）}カ^{（カ）}ミ^{（ミ）}胎^{（胎）}子^{（子）}ハ^{（ハ）}母^{（母）}ニ死^{（死）}シ

小^{（小）}便^{（便）}ヲ^{（ヲ）}天^{（天）}日^{（日）}七^{（七）}分^{（分）}吞^{（吞）}セ^{（セ）}テ^{（テ）}同^{（同）}ヲ^{（ヲ）}ヲ^{（ヲ）}サイ^{（サイ）}テ^{（テ）}座^{（座）}ス^{（ス）}ヘ^{（ヘ）}シ^{（シ）}即^{（即）}チ^{（チ）}フ^{（フ）}サ^{（サ）}シ^{（シ）}ム^{（ム）}ベ^{（ベ）}シ

大^{（大）}ス^{（ス）}レ^{（レ）}ハ^{（ハ）}タ^{（タ）}タ^{（タ）}有^{（有）}テ^{（テ）}ヨ^{（ヨ）}ク^{（ク）}居^{（居）}ス^{（ス）}ラ^{（ラ）}フ^{（フ）}セ^{（セ）}ア^{（ア）}ラ^{（ラ）}ン^{（ン）}キ^{（キ）}高^{（高）}ク^{（ク）}物^{（物）}ヲ^{（ヲ）}ヨ^{（ヨ）}リ^{（リ）}カ^{（カ）}フ^{（フ）}テ

入^{（入）}マ^{（マ）}ウ^{（ウ）}ス^{（ス）}ヘ^{（ヘ）}シ^{（シ）}細^{（細）}キ^{（キ）}ヤ^{（ヤ）}ハ^{（ハ）}ラ^{（ラ）}カ^{（カ）}ナル^{（ナル）}物^{（物）}ヲ^{（ヲ）}以^{（以）}テ^{（テ）}心^{（心）}ヨ^{（ヨ）}リ^{（リ）}腹^{（腹）}ニ^{（ニ）}サ^{（サ）}ス^{（ス）}リ^{（リ）}ウ^{（ウ）}ロ^{（ロ）}サ^{（サ）}

シ^{（シ）}ノ^{（ノ）}ヨ^{（ヨ）}知^{（知）}ル^{（ル）}古^{（古）}血^{（血）}ノ^{（ノ）}成^{（成）}ミ^{（ミ）}ヤ^{（ヤ）}ウ^{（ウ）}ス^{（ス）}ル^{（ル）}三^{（三）}日^{（日）}久^{（久）}キ^{（キ）}子^{（子）}入^{（入）}レ^{（レ）}ム^{（ム）}ヘ^{（ヘ）}テ^{（テ）}ラ^{（ラ）}ス^{（ス）}ア^{（ア）}ラ^{（ラ）}ハ

子^{（子）}ハ^{（ハ）}ソ^{（ソ）}ロ^{（ロ）}ニ^{（ニ）}ト^{（ト）}發^{（發）}シ^{（シ）}テ^{（テ）}産^{（産）}ノ^{（ノ）}ヨ^{（ヨ）}リ^{（リ）}ニ^{（ニ）}日^{（日）}ノ^{（ノ）}間^{（間）}ハ^{（ハ）}産^{（産）}ノ^{（ノ）}大^{（大）}醗^{（醗）}ヲ^{（ヲ）}カ^{（カ）}フ^{（フ）}テ^{（テ）}其^{（其）}

是^{（是）}ハ^{（ハ）}患^{（患）}血^{（血）}上^{（上）}逆^{（逆）}ノ^{（ノ）}氣^{（氣）}ヲ^{（ヲ）}レ^{（レ）}テ^{（テ）}サ^{（サ）}カ^{（カ）}リ^{（リ）}ホ^{（ホ）}リ^{（ホ）}目^{（目）}ヲ^{（ヲ）}開^{（開）}キ^{（キ）}テ^{（テ）}リ^{（リ）}失^{（失）}フ^{（フ）}ル^{（ル）}

是^{（是）}ハ^{（ハ）}患^{（患）}血^{（血）}上^{（上）}逆^{（逆）}ノ^{（ノ）}氣^{（氣）}ヲ^{（ヲ）}レ^{（レ）}テ^{（テ）}サ^{（サ）}カ^{（カ）}リ^{（リ）}ホ^{（ホ）}リ^{（ホ）}目^{（目）}ヲ^{（ヲ）}開^{（開）}キ^{（キ）}テ^{（テ）}リ^{（リ）}失^{（失）}フ^{（フ）}ル^{（ル）}

是^{（是）}ハ^{（ハ）}患^{（患）}血^{（血）}上^{（上）}逆^{（逆）}ノ^{（ノ）}氣^{（氣）}ヲ^{（ヲ）}レ^{（レ）}テ^{（テ）}サ^{（サ）}カ^{（カ）}リ^{（リ）}ホ^{（ホ）}リ^{（ホ）}目^{（目）}ヲ^{（ヲ）}開^{（開）}キ^{（キ）}テ^{（テ）}リ^{（リ）}失^{（失）}フ^{（フ）}ル^{（ル）}

是^{（是）}ハ^{（ハ）}患^{（患）}血^{（血）}上^{（上）}逆^{（逆）}ノ^{（ノ）}氣^{（氣）}ヲ^{（ヲ）}レ^{（レ）}テ^{（テ）}サ^{（サ）}カ^{（カ）}リ^{（リ）}ホ^{（ホ）}リ^{（ホ）}目^{（目）}ヲ^{（ヲ）}開^{（開）}キ^{（キ）}テ^{（テ）}リ^{（リ）}失^{（失）}フ^{（フ）}ル^{（ル）}

一切虚後ノ氣結来ニ至ル同穴諸症散トモ 諸症

今ニ至 耳ノ 右細末ノサマテ耳ヲニスルニ入ル

一方ハ寒ノ中ニアル鴨ノ里焼テ細末ノ耳ヲキレツ

虚後ノ風寒ノミヨリ 惡血ハストツリ寒熱ノクマツクハ

邪氣ノ道ノ入ルルニナリツキ物アリ物アリ 活血湯

生ヤノ介凡ノ今ノ耳

虚後ノ氣ノ弱依テ経絡同 血脉滞テ同ノ重シニ散

未ナセノ介ノ耳ノ右生ヤノ入テ並復ス

虚後ノ頸痛咳嗽喘急四肢浮腫ノ我皆療治ハ善也

牡丹養血丸ノ介ニ 赤白ノ牡丹皮ノ末ニ 延胡索

右細末ノ煉蜜ニテ丸ノ末湯ニテ用

シタタ虚ノ多クランタタル人虚ノ乳汁ノラスハ 風熱経脈

ノ少散ノ介ノ 葉ノ 括名 括名ノ末ニ 耳ノ 穀米

赤芍 甘草 莖 研 右 藥 四 物 湯 内

子 母 丸 アラシ 腹 中 ア 横 サシ ナリ 子 母 丸 四 物 湯 内

今 薄 黃 耳 伏 括 呂 根 右 莖 ノ 子 母 丸

今 薄 黃 耳 伏 括 呂 根 右 莖 ノ 子 母 丸

今 薄 黃 耳 伏 括 呂 根 右 莖 ノ 子 母 丸

空 茹 嚙 壳 莖 右 莖 用

子 母 丸 アラシ 鹿 茸 右 丸 ノ 牡 丹 皮 ア 莖 用 子 母 丸

後 牛 子 根 ノ 子 母 丸 一 束 中 子 母 丸 白 粉 子 母 丸 付 子 母 丸

子 母 丸 一 束 中 子 母 丸 白 粉 子 母 丸 付 子 母 丸

子 母 丸 一 束 中 子 母 丸 白 粉 子 母 丸 付 子 母 丸

赤 芍 中 子 母 丸 右 丸 ノ 用 又 苧 葉 ア 前 用

赤 芍 中 子 母 丸 右 丸 ノ 用 又 苧 葉 ア 前 用

赤 芍 中 子 母 丸 右 丸 ノ 用 又 苧 葉 ア 前 用

赤 芍 中 子 母 丸 右 丸 ノ 用 又 苧 葉 ア 前 用

赤 芍 中 子 母 丸 右 丸 ノ 用 又 苧 葉 ア 前 用

婦 人 ノ 煩 ハ 皆 血 ノ 虚 冷 何 ノ 煩 見 食 ス ハ 元 ノ 四 物 湯

婦 人 ノ 煩 ハ 皆 血 ノ 虚 冷 何 ノ 煩 見 食 ス ハ 元 ノ 四 物 湯

婦 人 ノ 煩 ハ 皆 血 ノ 虚 冷 何 ノ 煩 見 食 ス ハ 元 ノ 四 物 湯

婦 人 ノ 煩 ハ 皆 血 ノ 虚 冷 何 ノ 煩 見 食 ス ハ 元 ノ 四 物 湯

婦 人 ノ 煩 ハ 皆 血 ノ 虚 冷 何 ノ 煩 見 食 ス ハ 元 ノ 四 物 湯

難産、秘塞、痔ノ毛ヲ生テ石ヲ打リタキ、秘塞入テ

煎ハ用驗スル度ニナリ

難産、葛根湯、胎子ヲ如テ煎汁、テ活石ニテ用テ

座前座後小便ナリテナリ、升ルモ加テ痔ノ毛ヲ

煎シ、ソノリキキ宝丹、單番ニテ用テ、必小便通スル

難産、土竜ヲ升ルヲ口傳スベシ

腰氣指塞、白凡ス、色ヲ赤、指如舌中

小便不通、胡ラスリテ用テ、妙シ

四十四 小兒門

小兒、乳母ノ乳、不調ニテ、乳ノ不調、小兒ノ乳、不調ニテ、

小兒、後、ノマシ、ナリケ、小兒、イテ、ル、ニ、ナシ、俄、並、スル、

ナリ、小兒、ナリ、ニ、時、ヲ、コ、ク、モ、ナ、モ、ナ、サ、エ、カ、キ、リ、テ、ハ、ヤ、ク、ノ、治、セ、ヨ、

其後ヨク水龍ノスリ、タレ、辰砂ヲ、蜜、チ、ト、イ、テ、口、ナ、中、ス、

リ、テ、マ、セ、ヨ、一、生、ノ、同、ノ、痘、疹、ヲ、マ、ス、カ、ル、

小兒、タ、マ、レ、落、テ、ナ、ク、フ、ナ、ク、ノ、乳、結、ノ、乳、セ、ン、ス、ル、ハ、難、産、モ、マ、レ、

乳、同、ナ、リ、如、世、卒、ニ、胎、帯、ヲ、断、ハ、ル、ス、兒、ア、綿、ニ、マ、ミ、テ、レ、ソ、ク、

ト、モ、胎、衣、角、カ、胎、ノ、帯、ノ、口、ヲ、マ、シ、火、氣、胎、ヨリ、腹、入、テ、

腹、更、ニ、流、過、テ、息、イ、ル、ニ、テ、湯、ヲ、ア、ヒ、セ、リ、胎、ノ、帯、ヲ、断、ハ、シ、

小兒、乳、モ、リ、肉、胎、ノ、帯、ヲ、断、ハ、シ、口、ヲ、マ、シ、風、濕、入、テ、タ、セ、ハ、唇、赤、

ナ、リ、

室子九ノ時 何人煎針子食乳ノ後 用ヨ
懐胎ノ時六飲食節ニ準ルヨリ 脾胃ヲ損傷ノ浮腫スル

日久多キ者 元氣甚ク虚メキ 足ヲヒリツキ 面赤スル
此子イリテ 暗ラアハシソラメツカイラスル 身ニ一口鼻ノ息

エルニ節ニキツルアハシ 二便者ク白キ 今ヲ 夏ニ 未
耳ノ子ノ附子 本者 甚ク 天南星 地 赤

右キカモ煎用ス生ニ善ク加テヨシ
凡急驚風ハ十生二死 慢驚風ハ十死一生

急驚風ハ熱ト疾ト 慢驚風ハ大テ降シ 疾ヲ清スルヲ
用

其神ヲ安シスルヲ 丹茶ヲ送下ス
其兒生テ即チ血氣未ダ又 陰陽未和セヌ 藏府未

ツカラス 胃節ノアヤリモ未クサレナキ又 腹通
其後各全ク 調ルニ 藏府ハ未ダ 依テ 全クナリ 胎ニ母ハ未ダ 依テ

故ニ生テ三十日ホトナシ 榮熱ノ或ハ吐レ行イテ 或ハヨイテ
イテ未食ス 是血脈ヲ長シ 却テ全スル 使 又三十日ホトナシ

細クアツタレタアルニ 此時外邪内傷ナレト 此ノ喜リニ 命ヲ救

浮下人ナクス

浮下人ナクス

浮下人ナクス

浮下人ナクス

右葉服
今ハ果ナク白ク耳ヲ枯葉根ナク細昔右葉服
右葉根折即全熱燭燭甚ク傷寒似タラハ上唇ノ中心
引退ミヨ白クツツアハ心是毒蓋ノ証ナク
虎ナキ右三粒アリ存生ノ毒少クナリ元湯ナク吞セヨ温
暖期ナク行イラヨシ

小兒虎口後ニル上ノ雷ハ尤大右ノキノ人サレ指ノ腹ヲ見ヘシ
不節ハラフ風咽ト云々肺ノナキハ無ナリアルハカレキ痛ニナリ
ナレバ氣咽ト云々肺ノアルハナキ痛ニナリ
ナレバ氣咽ト云々肺ノアルハナキ痛ニナリ
ナレバ氣咽ト云々肺ノアルハナキ痛ニナリ

六歳ノ折ト云九ナリナリ折ト云其間ハ逆者ノ一指ヲ以テ年
後ニ部法便ニ逆者ノ一指ヲ以テ年
七歳ト云童子ト云一白ノ間ニ七六至ノ年トス
虎口ニル上ノ第一ノ節ニ諸色ノ節アル諸醫ノ候トス是テ
節ノ氣咽ニナリアルハ元ノ痛ニナレシ葉也ナリ八腎ノ痛ナリ
候肝痛白赤肺痛黄赤脾痛赤色ハ心痛是ハ八腎ノ痛
ナレシ葉也ナリ九腎ノ痛ナリ
折入ハ治スハナクナリ
虎口ニル上ノ第一ノ節ニ諸色ノ節アル諸醫ノ候トス是テ
節ノ氣咽ニナリアルハ元ノ痛ニナレシ葉也ナリ八腎ノ痛ナリ
候肝痛白赤肺痛黄赤脾痛赤色ハ心痛是ハ八腎ノ痛
ナレシ葉也ナリ九腎ノ痛ナリ

虎口ニル上ノ第一ノ節ニ諸色ノ節アル諸醫ノ候トス是テ
節ノ氣咽ニナリアルハ元ノ痛ニナレシ葉也ナリ八腎ノ痛ナリ
候肝痛白赤肺痛黄赤脾痛赤色ハ心痛是ハ八腎ノ痛
ナレシ葉也ナリ九腎ノ痛ナリ
折入ハ治スハナクナリ
虎口ニル上ノ第一ノ節ニ諸色ノ節アル諸醫ノ候トス是テ
節ノ氣咽ニナリアルハ元ノ痛ニナレシ葉也ナリ八腎ノ痛ナリ
候肝痛白赤肺痛黄赤脾痛赤色ハ心痛是ハ八腎ノ痛
ナレシ葉也ナリ九腎ノ痛ナリ

解四ナリ

小兒瘰癧 痛ハ母ノ腋中ニ見テ脇内ハ血塊ナリ其ハ
生シ先時口ノ内ニ含メ無_レ血即啼クナリ吸ツテ腋中ニサ
マリ耳ヲカクシテア_ルニ或ハ歳大ニ過_リ熱毒盤ヒラユナルハ瘰
癧モコソサシテスルハ心肝脾肺ノ四臟ニ出テ四月ノ瘰ニ毎ノ留滯
セバヨシ若初キ時即チ腰痛ミ瘰癧ニア_ルテ坐立スル者ハ
久病大ニ早ク瘰癧腎固_ル留滯ノ發掘セヌイハナリ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

凡瘡癰疽發熱時中風者宜用此藥
コトヲ云フノアタリニ付テ

瘰癧瘰癧ナリテ後餘毒膿血ハツルヘテモ患ウテ膿シメド
腫痛ハ牛蒡子 薤白 芫花 葶苈子 右キナミ要シ厚
煎末ヲ入テキナミテノム 馬齒莧ヲ研テ猪ノ高月上生薬
ヲ合テハレ痛知ルヘシ 乳デイユルナリ
小兒ノ夜啼ハ蟬蛻ハコトヘシ 辰砂 二粒 蜜ナリ
コメテ口ニ中メスツテノマセヨ
腹痛ノ夜啼セマム 氏耳勾白木 木香 右末ノ乳ナリ
スリテノマセヨ

小兒五歳ナレバ古本マワリナリ 物ガイハスル人ノ苦草薄

小兒三四歳ナレバ乳ナリナリ 青ナリタスノアユナリ

ルハ 竹ナリ 芥ナリ 圭ナリ 牛セナリ 五味子ナリ 木瓜 酸枣仁

右細末ノ米飯ナリカキタテテ用ヘシ
小兒二三歳ナリナリ 生サルハ體不足ノ者中ニミナリ

石細末ノ鹽湯ナリナリ 介ナリ 芥ナリ 沈ナリ 耳ナリ

小兒生テ即物モアヌナリ 推シタル者丸ナリカキタテナルハ

桃仁ヲヨクスツテノムコヘナリ テトイテ油ナリユルヘシ
小兒服有ナリ 湯水ナリ 細粉ナリ 煎末ナリ

一 小兒乳ヲ下_ラス_ルハ是_レ蒼_ノ粉_ヲ乳_ノ乃_ハ骨_ヲ吞_ミ下_リス
 二 百_ノ料_ノ丸_ノ痲_ノ氣_ノ服_ノ氣_ノ也_ノ大_ニ戟_ノ一味_ヲ丸_ス
 三 同_ノ管_ヲ大_ニ輕_ノ粉_ヲ丸_ス
 四 羊_ノ島_ノ頭_ヲ三_ニ色_ニシ_テ丸_ス一_ヲ丸_ス痲_ノ氣_ノ服_ノ氣_ノ妙_ニ
 五 某_ノ三_ニ取_リ丸_ト云_フ

千葉堂
 貞安敬定家藏

梅花無盡花



